

しょうがくせい みな
小学生の皆さんへ

ねんせい ねんせい がくねん しんがくねんどさいしよ どうこう お けいけん
1年生から12年生まで、すべての学年が新学年度最初の登校を終えました。これまで経験したこともない
ような長いお休みの後の出合いであるはずなのに、昨日まで会っていたかような自然な出合いでもあり、と
ても不思議な気持ちの毎日でした。これまでと違うのは、新しい生活のしかたでの学校生活であるという
点です。

ところで、皆さんが集まってくるというのは、本当にいいものですね。やっぱり学校はこうでなければと思いま
した。休校中、オンラインでの学習支援にすっかり慣れたことでしょう。もちろんオンラインでも交流しながら
の学習は可能ですし、今回のような場合には、本当にありがたい手段です。しかし、ネット上ではなく、顔と
顔を合わせる協働的な学びの場を創り出すのが、学校の本当のはたらきではないかと思いつくづく感じさせら
れました。

せんしゅう おも だ かんじ むかし じたい みな し
先週、思い出していたのは、「学」という漢字の昔の字体です。皆さんは知っていますか。「學」と書きます。

いぜん よ きょういくがくしゃさとうまなぶせんせい せつめい かんが うえ ま なかたて ふた
以前読んだ教育学者佐藤学先生の説明に、ずいぶん考えさせられたことがあります。上の真ん中縦に二

つ並んだ「メ」は、学ぶことに欠かせない交わりを表しています。上は、学問・芸術・文化との交わり、下は

なかまどうし まじ りやうがわ さゆう わ まな みちび ささ おとな きょうし
仲間同士の交わりです。その両側に左右に分かれた「白(キュウ)」、これは、学びを導き支える大人(教師)

の手です。そして、学んでいる「子」が建物を意味する「一(ワカンムリ)」の下にいます。この漢字は、なんと

まな すがた あらわ
学ぶことの姿をぴたりと表しているのでしょうか。

さんみつ ひと あいだ きょり お ひと まじ き つか
三密にならないとか、人との間に距離を置くとか、ずいぶん人との交わりに気を使わなければならない

がっこうせいかつ がっこう き て あ せんせい が た せい い っ ぱ い みな まじ とお
学校生活です。それでもやはり、学校に来て出合ってほしいです。先生方も精一杯、皆さんが交わりを通し

て学ぶことができるよう、工夫しサポートしていきます。新型コロナとともに生きる時代にふさわしい、新しい

「学びの共同体」をみんなで創っていきましょう。

